

令和 5年 8月 3日

関係各位

三重大学長
伊藤 正明

令和5年度一般選抜後期日程「生物」における出題ミスについて（お詫び）

令和5年3月12日（日）に実施しました令和5年度一般選抜（後期日程 理科・生物）において出題ミスがあることが判明しました。出題ミスの内容と対応につきましては、下記のとおりです。

受験生ならびに関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、今後このようなことがないように、再発防止に努めてまいります。

（なお、今回の出題ミスによる合否判定への影響はございません。）

記

1. 対象入試の概要

- (1) 対象入試区分：令和5年度一般選抜（後期日程）
- (2) 対象実施日：令和5年3月12日（日）
- (3) 合格発表日：令和5年3月22日（水）15時頃
- (4) 対象学部：生物資源学部
- (5) 試験教科・科目：理科・生物
- (6) 対象科目受験者数：生物資源学部 69名

2. ミスの内容

大問4の問6（6）2）の問題について、該当箇所をすべて選ばせる問題で、2つの選択肢を正答としていましたが、誤答としていた別の選択肢1つも正答であることが判明しました。

問題：別紙のとおり（該当箇所抜粋）

3. 経緯

外部機関からの照会により、学内で確認・調査を行ったところ判明しました。

4. 当該ミスへの対応

誤答とした選択肢を選んで記載していた受験生を正解として取扱うこととしました。

5. 再発防止策

出題及び点検業務の際のチェック体制の更なる強化に努めます。

【本件に関する連絡先】

三重大学学務部入試チーム

電話 059-231-9063

（平日 8:30～17:15）

問 6 下線(A)に述べられているように、生物化石の発見とその地質年代の分析は、脊椎動物の誕生と進化をたどる上で重要である。共通祖先から進化を遂げた現生の脊椎動物は多種多様な形態をもつが、体の基本構造(ボディプラン)は保たれたままであることが、胚発生の研究から明らかになった。脊椎動物の胚発生のしくみに関する以下の問いに答えよ。

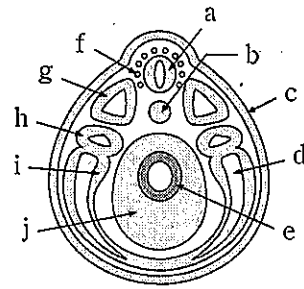


図 2

- (1) 図 2 は、動物の神経胚の断面図である。脊索と脊椎は、それぞれいずれの部位から分化するか、記号で答えよ。
- (2) 将来、脊索になる部位は、原腸胚の初期にすでに決定している(ここでは部位 a と呼ぶこととする)。部位 a を初期原腸胚から切り取り、別の初期原腸胚の腹側に移植すると、移植部分に二次胚が生じる。
 - 1) 部位 a の名称を答えよ。
 - 2) この現象を、2種類のイモリの胚を用いた移植実験によって明らかにした2名の人名を答えよ。
- (3) (2)の部位 a のように、発生途上の細胞が、将来どのような器官・組織になるか決まっていることを何と呼ぶか答えよ。
- (4) 脊索や脊椎の形成には、胞胚期までに、ある胚域が中胚葉へと分化する中胚葉誘導というはたらきが不可欠である。この誘導作用は、タンパク質分子など、さまざまな物質がシグナルとしてはたらいている。それら物質のうち、1989年に浅島らのグループにより学会発表されたタンパク質の名称を答えよ。
- (5) タンパク質による中胚葉誘導のメカニズムが解明される以前に、動物極側の組織が中胚葉組織に分化する現象を、胞胚の培養実験によって明らかにした人物がいる。この人物の人名を答えよ。

(6) 次の器官は、図2において、いずれの部位から分化するか、それぞれ該当する部位をすべて選び、記号で答えよ。

1) 皮膚

2) 目

(7) 動物の発生過程において、目は誘導の連鎖によって形成される。

1) 水晶体は何から誘導されるか答えよ。

2) 水晶体の形成体を答えよ。

3) 2)の形成体自身は何に分化するか答えよ。